

# 平成29年度病害虫発生予報第4号

平成29年 6月30日  
愛知 県

## 普通作物

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
イネ	いもち病 (葉いもち)	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	紋枯病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	トビイロウンカ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い	+
	セジロウンカ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い	+
	ツマグロヨコバイ	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	カメムシ類	やや多い	県全域	畦畔における6月の発生量はや や多い 予察灯における誘殺数は平年並	+ ±
	フタオビコヤガ (イネアオムシ)	少ない	県全域	6月の発生量は少ない	-
	イチモンジセセリ (イネツトムシ)	やや少ない	県全域	6月の発生量は少ない 7月の気温は高い	- +

### ・ 防除対策

#### [イネ・セジロウンカ]

発生が多いほ場では、トレボン粒剤、キラップフロアブル、スタークル豆つぶなどで防除しましょう。

発生状況等詳細は本日発表の「ウンカ情報第1号」を参照してください。

#### [イネ・カメムシ類]

本日発表の「斑点米カメムシ類情報第1号」を参照してください。

### ・ 留意事項

トビイロウンカが多飛来した場合は、7月下旬～8月上旬に防除が必要になるので、ほ場をよく観察し、今後の発生状況に注意してください。

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	そうか病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	黒点病	平年並	県全域	5月の枯枝の孢子形成量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	ミカンハダニ	平年並	県全域	6月の発生量はやや少ない 7月の気温は高い	- +
	チャノキイロアザミウマ	多い	県全域	粘着トラップにおける誘殺数は多い 6月のイヌマキにおける発生量はやや多い	+ +
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並か少ない	+ ±～-
	うどんこ病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	ナシヒメシクイ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 6月のモモの被害新梢率はやや高い	± +
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は高い	± +
モモ	せん孔細菌病	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない 7月の降水量は平年並か少ない	- ±～-
	灰星病	平年並	県全域	4月の発病花率はやや高い 6月の降水量は少なかった 7月の降水量は平年並か少ない	+ - ±～-
	ナシヒメシクイ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はおおむね平年並	+ ±
	モモハモグリガ	やや少ない	県全域	6月の被害葉率はやや低い フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	- -
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は高い	± +
ブドウ	べと病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	黒とう病	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない 7月の降水量は平年並か少ない	- ±～-
	チャノキイロアザミウマ	平年並	県全域	粘着トラップにおける誘殺数は平年並 6月のイヌマキにおける発生量は平年並	± ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
カキ	角斑落葉病 円星落葉病	平年並	県全域	前年秋の発生量はやや多い 6月の降水量は少なかった 7月の降水量は平年並か少ない	＋ － ±～－
	うどんこ病	少ない	県全域	6月の発生量は少ない	－
	コナカイガラ ムシ類	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない	－
果樹共通	カメムシ類	やや少ない	県全域	予察灯及びフェロモントラップ における誘殺数はやや少ない 7月の気温は高い	－ ＋

#### ・防除対策

##### [ウンシュウミカン・チャノキイロアザミウマ]

本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」に記載した成虫の発生ピーク時期を参考にしながら、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤、コテツフロアブルなどで防除しましょう。

##### [ナシ・黒星病]

6月2日発表の「平成29年度病害虫発生予察注意報第1号」を参照してください。

##### [ナシ・ナシヒメシンクイ]

本種はモモ、ウメなどの新梢の発育が停止する7月頃になると、ナシを加害するようになります。フェロモントラップにおける誘殺状況に注意して、サムコルフロアブル10やノーモルト乳剤などで防除しましょう。

##### [ナシ・ハダニ類]

コロマイト乳剤、ダニコングフロアブルなどで防除しましょう。

##### [モモ・ナシヒメシンクイ]

芯折れは見つけ次第取り除き、処分しましょう。芯折れが多く見られる場合は、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤やハチハチフロアブルなどで防除しましょう。農薬の使用にあたっては、収穫前日数及び他の園への飛散に注意してください。

##### [モモ・ハダニ類]

ダニコングフロアブルやマイトコーネフロアブルなどで防除しましょう。

#### ・留意事項

モモ灰星病は、発病果を除去するとともに、春の開花期において発病花率が高かったほ場では、防除を実施しましょう。

ブドウべと病は、降雨が続くと急速にまん延するおそれがあります。発生を確認したら速やかに防除しましょう。

チャノキイロアザミウマの発生量は、今のところブドウで平年並ですが、ウンシュウミカンでは多くなっています。今後のブドウにおけるチャノキイロアザミウマ発生状況に注意しましょう。

前年秋にカキ角斑落葉病・円星落葉病の発生量が多かったほ場では、防除を実施しましょう。

## 花き

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キク (露地)	白さび病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か少ない	± ±～－
	アブラムシ類	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 黄色水盤、黄色粘着トラップに おける誘殺数は平年並	＋ ±
	ハダニ類	やや少ない	県全域	6月の発生量は少ない 7月の気温は高い	－ ＋
	アザミウマ類	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い	＋
	オオタバコガ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	±

### ・防除対策

#### 〔キク（露地）・アブラムシ類〕

発生ほ場では、ウララ50DFやコルト顆粒水和剤などで防除しましょう。

#### 〔キク（露地）・アザミウマ類〕

発生ほ場では、ディアナSCやモスピラン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

### ・留意事項

白さび病が多発しているほ場があります。被害葉を切除して適切に処分するとともに、系統の異なる農薬でローテーション防除しましょう。

オオタバコガは、フェロモントラップにおける誘殺数が多い地域があります。オオタバコガ幼虫による成長点への加害を防ぐため、今後の発生状況に注意し、適宜防除を行いましょ。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/investigation.html>）を参照してください。

### 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台6月29日発表）

#### 〈特に注意を要する事項〉

期間のはじめは、気温がかなり高くなる可能性があります。

#### 〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率60%です。

#### 〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%